

おりゆう灯籠

今から七百年ほど前、
出石川は町のまん中
を流れ、大きな船が往来し
て、毎日賑わっていました。



そのころ、出石のある豪族の屋敷には若い侍が
暮らしていました。彼は書を学び、武術を練習
し、たくましい青年に育っていました。

この屋敷には、おりゆうという心も顔かたちも美
しい娘が奉公していました。お互いに惹かれ合う
二人は、恋に落ちました。しかし、身分の違いは
その恋を实らすことを阻みました。

おりゆうは里に帰されました。
そんな時、日本に蒙古軍が攻め込んできました。
武術に優れた若い侍は九州の防衛のために、あ
わただしく旅立っていきました。

愛する彼の出征を聞いたおりゆうは船着き場に
走りました。しかし、彼をのせた船は見る見る遠
ざかつてしまいました。

出石にまつわる昔話。
おりゆうと若い侍のお話し「おりゆう灯籠」を紹介します。

それから数ヶ月後、彼の戦死の報が屋敷
にもたらされました。おりゆうの体が
出石川に浮いたのは、その数日後でした。
おりゆうは身ごもっていたのでした。

以後、大雨のたびに出石川は氾濫します。人々
は、これはおりゆうの悲しみの現れだと語り合
いました。そして、これを鎮めるために、船着き場
にほこらを建てて供養し、そのそばには灯籠も建
てました。その灯は、上り下りする船の船頭たち
の道しるべになり、「おりゆう灯籠」とよばれるよ
うになりました。

今も、出石川の橋のたもとに、おりゆう灯籠が建
っています。



7月7日は川の日

2003
7/6 (日) 円山川フェスタ

場所/豊岡六地藏河川敷

円山川のイメージキャラクター ぶるるん

7月は「河川愛護月間」

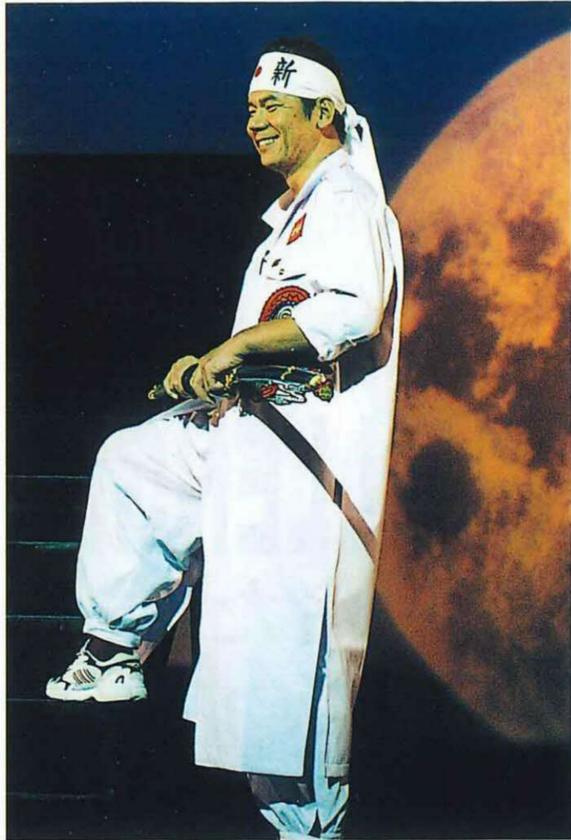
水辺にやすらぎ 心にゆとり
安全できれいな川をみなさんと一緒に
考えることを目的とした月間です。

楽しいイベントがいっぱい!
キャラクターショー、工作コーナーも
あるよ!ゲーム、クイズで遊ぼうよ!
みんな、来てね!待ってるよ!

8月は「道路ふれあい月間」

普段の生活の中で欠かせない道路
を利用しているみなさんに、改めて
道路とふれあい、道路の役割と重要
性を再認識してもらい、さらに道路
の正しい利用を見つめ直す事で、道
路愛護の気持ちを持ってもらうこと
により、道路を常に広く、美しく、安
全に利用することをみんなで考え
ようという月間です。





昨年、舞台公演された「誠～MAKOTO～」の一場面。今井雅之さん脚本・演出・主演作品。



今

井 思い出

vol.1

熱血 談義

雅

之

高校時代、毎土曜日、部活動が終わると映画を見に行った。それでも足りずに平日、日曜日とお金が続く限り、飽きもせず映画館へ通った。当時、「パピヨン」「カッコーの巣の上を」などが上映され、自分の原点となる作品に出逢った。アメリカ映画の俳優たちの自然な演技に影響を受け、ひかれていった。振り返ってみれば、あの頃、貸切状態の映画館で実に贅沢な映画を見ていたことに気がついた。あの豊岡の映画館が自分の出発点だったのかもしれない。そして、40歳になったら映画を撮ろうと思っていた。今年10月から初監督作品を故郷である但馬(豊岡市・城崎町・日高町)で撮影を開始することになった。このうれしさは語り尽くせないものがある。

ここから映画の世界への道が開かれるのだ。これからはハリウッドをめざし、世界に向けての作品をつくっていききたいと思っている。 東京に暮らして20年以上が経ち、但馬で暮らした月日より長くなった。しかし、故郷で培ったものは消せない。どこへ行っても、何十年経っても、但馬人であるアイデンティティは変わらない。 但馬には但馬の独特の文化がある。「どうせ、自分たちは…だから…」と言う前に、まず行動をおこしてみたい。但馬人としての自信と誇りを持って生きてほしい。 これから、このコーナーで今自分の考えていることなどを語っていきたいと思っているので、ご期待!



【PROFILE】

1961年4月21日、兵庫県城崎郡日高町に生まれる。
1986年 奈良橋陽子演出「MONKEY」で舞台デビュー
1987年 ドラマ人間模様「婚約」(NHK)でテレビデビュー
1991年 文化庁主催芸術祭において「WINDS OF GOD」で史上初の原作・脚本・演技の三役で受賞
1993年 「WINDS OF GOD」で国際連合作家協会芸術賞受賞
1995年 「静かな生活」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞大賞、キネマ旬報日本映画新人男優賞受賞
1999年 「WINDS OF GOD」ブロードウェイでロングラン公演
2001年 「カッコーの巣の上を」全国ツアー公演
2002年 「MAKOTO ～ゆく年くる年 Hello,X'mas～」全国ツアー公演